

# 報部

府督總濟台

輯編部報情

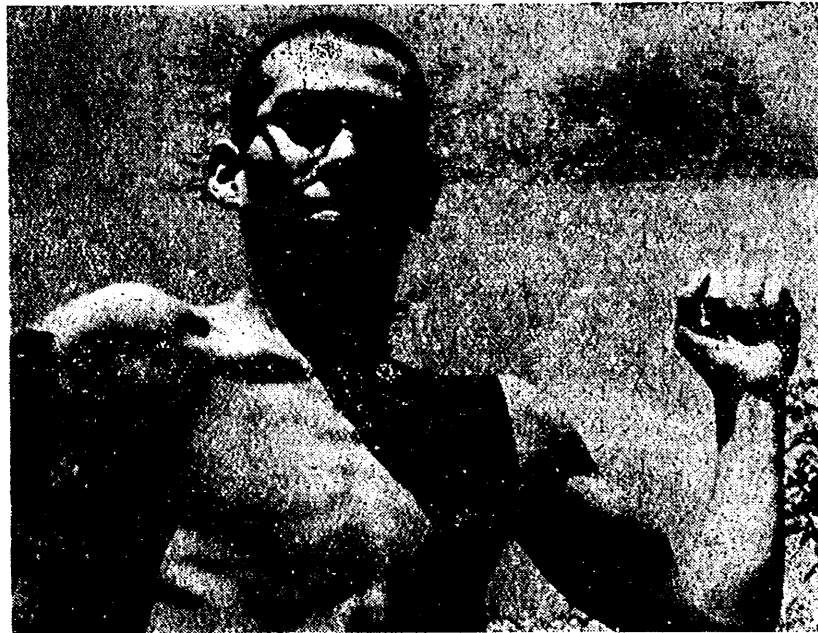
中華民國二十六年五月五日發行



號刊增時臨



# 國民健康増進運動



目次	(臨時特設號)
令旨	二
非常時と健康	齋藤總務長官
列強國民の健康	曾田長宗
清潔な國民は興る	澤田藤一郎
療養所の話	佐藤敏
時局下の小兒營養	酒井潔
母性の保健	眞柄正直
性病談義	高橋信吉
結核の早期發見	三
本島の特種醫療機關	三
本島に於ける醫療機關	三
集團生活と結核の豫防	三

**無病家庭の常備藥**

激務に従事する人、發育盛りの兒童、お産前後の婦人などにとつてADは一日も缺かせぬ栄養素です。

ハリバはかやうな人々の健康を護るAD劑として廣く實用されます

百粒 二円五十錢  
五百粒 十円五十錢

DAVE

昭和十四年四月二十八日

皇后陛下ヨリ賜ハリタル令旨

國民體力ノ向上ハ國本ニ培フ所以ニシテ現下特ニ心ヲ致スヘキ  
所ナリ而シテ近時結核ノ蔓延甚シク其ノ國力ニ及ホス影響ノ大  
イナルニ鑒ミ誠ニ憂慮ニ堪ヘサルナリ茲ニ内帑ヲ頒チ之レカ豫  
防並ニ治療ニ關スル施設ノ一助タラシメムトス官民克ク力ヲ戮  
セ之レカ目的ノ達成ニ努メムコトヲ望ム

昭和十四年九月二十日

總裁宮殿下ヨリ賜ハリタル令旨

爰ニ 皇后陛下ノ令旨ヲ奉體シテ財團法人結核豫防會設立セラレ  
推サレテ之カ總裁ノ任ニ就ケリ今ヤ國ヲ舉ケテ興亞大業ノ翼賛ニ  
邁進シツツアルノ秋我國ノ實情ニ顧ミテ國民ノ體位向上ヲ圖リ國  
力ノ本源ヲ鞏固ナラシムルハ目下ノ急務ニシテ本會ノ責務洵ニ重  
大ナリト謂フヘシ而モ之カ效果ヲ收メンコト甚容易ニアラス各員  
深ク思フ此ニ致シ同心協力克ク本會使命ノ遂行ニ努メ以テ  
懿旨ニ對ヘ奉ランコトヲ望ム

# 非常時と健康

總務長官 齋藤樹

今や聖戦滿四箇年、國の總力を擧げて大東亞共榮圈の確立に邁進しつゝある秋に當りまして、又國際情勢今後の變轉尙も豫想を許さざるに當りまして、高度國防國家體制を準備することは、當面喫緊の要務であります。而して、これが整備を計る爲めには、軍事動員は固より、政治、産業のあらゆる部門の活力の基礎となるべき人的資源の底力を強化して行かねばならないのであります。即ち國民の健康増進を計り旺盛なる精神力と、強健なる體力を養ひ、一面人口の増加と國民資質の向上とを策するの切實なるものがあるものであります。

この人的資源の増強確保を目的とする國民的健康増進運動は、在來も官民の倦まざる努力が續けられたのであります。非常時となりましては政府の指導の下に全國民一丸となり、既に三回の大運動を起し、その効果も見るべきものがあつたのであります。

殊に、昭和十四年四月二十八日には、畏くも

皇后陛下にはこの國民健康運動の核心となるべき結核豫防に關する令旨を下し賜ひ、本運動に一段の激勵を加へさせられたのであります。

爾來我等官民は恐懼感激益々結束を固め、日夜 令旨に添ひ奉らんことを誓つたのであります。今年はこの非常時國民健康運動の第四年目に當り、本島に於ても全國的に運動に歩調を揃へ、令旨御下賜日に因みたる本日より十日間、感激を新たにし島民健康度向上の跡を顧みると共に、益々健康増進運動の徹底を期し、統後國民奉公の實を

擧げんとするのであります。

私はこの非常時國民運動の開始に當り、感ずる處を述べ、官民諸君と共に本運動の實施に當りますことは、洵に喜びと感ずるものであります。

非常時に於ける健康問題を考へますに當り、重點的に之れを觀ますと、第一に結核問題、第二に母性乳幼児と人口増殖問題、第三は食糧營養の問題とが擧げらるゝのであります。

先づ結核の問題は、その數の莫大に上る點より、死亡率に大なる影響を來し、青壯年層に廣く蔓延して營に軍事動員の支障となるのみならず、國民精力、生産能力の大減殺を來すことは明かな事實であります。

更に、その消費方面より考へます時は、全國一箇年十五萬の死者は、我國の經驗した何れの大戦の戦死者よりも多く、一箇年百五十萬の患者の療養費は、直接、間接費を加へて七億五千萬圓と算定せられ、この額は七隻の世界最強の戦艦を完成するに足ると言はれて居るのを見ても、さなきだに非常時局の大出費を要する際、この絶對消費のたとへその幾分なりとも減ずることが出來たとしても、莫大なる國費の節約となることを思はねばなりません。而も各自本病に對する正しき認識を深め、多少の注意を加ふることによりまして、決してこれを減少せしめることは不可能事ではないことは、識者の夙に唱導する處であります。

殊に本病の對策は、その豫防措置を行ふことが治療の先決問題であり、病の感染も幼少年時にあるものであり、ま結核豫防を最も効果的ならしめるには、國民が乳幼児の時代より健康の基礎建設に努めねばならないのであります。従つて第二の重點である處の、母性と乳幼児の健康運動が亦關聯して、等しく精進せねばならぬこととなるのであります。

母性と乳幼児の問題は、これを切りはなして考へることの出來ないものであります。この双方の健康増進は、營に結核豫防の効果をあげるのみならず、乳幼児の死亡の減少は、將來國家を背負ふべき第二國民の數を確保し、質を堅實にし、國民平均壽命を延長せしめ、民族の活力に精彩を與ふるものであります。人口増加少き民族、即ち、子供少き國民があらゆる點に精彩を缺き、やがて國の衰亡を辿ることは、古來著名の事實でありまして、現在の佛

蘭西の如きその好個の例と申さなければなりません。本月十七日、内閣統計局の發表によれば、我國最近の人口増加は、この非常時局に於て外地に百萬をはるかに超ゆる未曾有の青壯年層の大動員を致して居るに拘らず、尙最近五年間に六百二十九萬餘の増加を來し、總計一億五百二十萬餘となつた事を報じて居ります。

これは洵に我國の民族的發展性の旺盛を示してゐるもので、心強き限りであります。然しながら我國の乳幼児の死亡率は、世界強國中の最高率にあり、その最低率のもの約二倍にも當ることを考ふる時、國民はこの乳幼児の死亡防止に緊要一番を要するのであります。本島に於ては、この乳幼児の死亡の率は、内地に比し更に格段の高率を示してゐるのでありますから、本島の母親諸君は尙一層の注意を願ひ度いものであります。

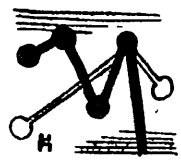
この結核豫防の問題と、母性乳幼児の問題に大きな關聯影響を持つものは、營養の問題であります。

戰時に於ては、糧食の問題は直接戦の勝敗を左右するにも足る重要問題であります。我が臺灣は、農産物が豊富で、島民諸君はこの戰時食糧問題に大いに寄與せられてゐるのでありますが、非常時の長期化と、戦争の及ぶ範圍が世界的となりつゝある時局下に於ては、この食糧問題は、僅に量的の統制配給の考慮のみでは充分とは申されないので、その質的低下を來さぬ様に、調理案配の宜しきを持つて、合理化を圖ると共に、消費節約に充分なる考慮をめぐらし、以て將來に備ふる餘裕を示さねばならぬのであります。この點につきましては、獨逸は前大戦の苦き經驗に鑒み、既に十數年前より國民營養食を制定し、配給及營養の必要にして充分なる合理化を圖り、その様式によつて國民全體を長年月訓練せる爲、今日食糧の點につき餘裕を示しつつあるは、洵に範とするに足るものがあるのではあります。我國、殊に本島は其の點については、米穀に、獸肉に、魚肉蔬菜に、何れも恵まれてゐるので、最近迄殆ど平常と變らなかつたのであります。が、長期戦に備ふる爲近時多少の配給統制を行ひ、奢侈抑制、無駄排除等、銃後運動の意味を加へ、聖戰目的貫徹に遺憾なき用意をなしつつあるものであります。尙この營養の問題が、一方結核豫防、乳幼児健康保障の大なる要素となり、他方國民健康増進の大宗をなすを思ひ、消費及營養攝取の合理化に一段の努力を拂はれん事を切望するものであります。

我國は古へより、豐葦原瑞穂の國と言はれたる如く、五穀豐饒であり、四面環海で海の幸又多く、食物豊富にして

美味、その天與を満喫して居りました爲めか、病氣の統計を見ますと、過食による胃腸の疾患が甚だ多くありましたが、最近に主食を七分搗米に定め、消費方面にて過食になる恐れあるもの、節約を勵行せる結果、胃腸病數が急激なる減少の傾向を示して來たのは一舉兩得であり、洵に慶賀すべき傾向と申さればなりません。この營養合理化についても、最近厚生省に於ては節米することにより、主食の攝取がむらにならぬ様注意を喚起して居ります。即ち主食の米は、一日の營養分を三等分して、毎回均等に、また副食物は一日分を四等分にし、朝と晝は各四分の一宛、夕食はその四分の二位を標準として攝る様指導して居りますが、頗る中庸を得たるものと考へられます。斯く觀じ來る時は、非常時に於ける健康の重要問題は、何れも一貫した脈絡を持つて居る關聯事項であります。その實行は我等國民の等しく一團的努力を拂はねばならないのであります。就中女子國民、殊に家庭主婦の擔當領域に屬するもの甚だ多い事を發見するのであります。人口構成の點より觀ましても、成人女子と小兒との數は、成人男子の二倍に當つて居りますので、斯る健康増進の効果を齎すべき實行の大部分は、家庭の主婦の双肩に懸ると申すも過言ではないのであります。甚だ恐れ多き事ながら、我一億國民の大主婦に在します。皇后陛下には、この國民健康増進運動の樞機を、令旨に御指示あらせられたのは、洵に意義深きことであります。全國各家庭の主婦は感奮興起、各自の家庭に一人の病者なく、各々あふるる健康に満ちて、生彩ある銃後の活動に參加し得る様努力せざるを得ぬであらうと考ふる次第であります。

以上私は非常時の健康問題の要點につき感する處を申したのでありますが、其他環境の改善に努力して生活状態の明朗を計り、心身鍛錬運動にとめて軍國の用に備へ、純血運動を行つて青年層の風紀を正し、性病豫防の効果をあげ、傳染病の防遏に力をつくす等、數へ來れば非常時下にあつて國民の等しく心掛くべき點は尙多々あるものであります。宜しく官民一體となり、益々本運動の主旨の普及を圖り、不斷の努力を繼續して益々其の効果を擧げん事を望んで止まないものであります。



### 統計から見た

## 列強國民の健康

臺北帝大教授  
總督府技師

曾田長宗

人的資源の量的及質的増強、即ち人口の増殖と國民各個の健康状態如何が、國運伸張の基礎であるとは真く謂はれるが、現在の所謂日獨伊三國同盟側と英米佛等民主主義國側とに就て、此の間の消息が如何やうになつて居るか、若干の統計圖を掲げて比較を試みよう。

#### 第一圖 出生率の比較

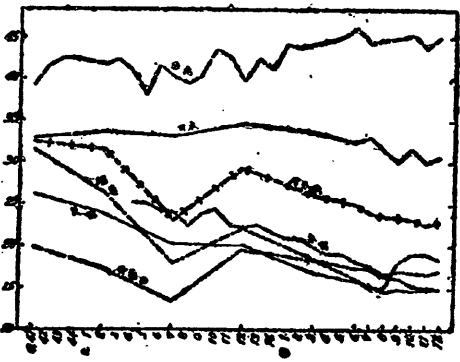
民族の發展の爲め、出生率の高い事は何としても喜しい事だ。出生率が餘りにも低率となるならば、如何に衛生保健策を講じて死亡率の減少を計つた所で、急激な人口増加は望まれない。圖中日本の出生率、特に臺灣の出生率

が他國に冠絶して高率である事は誠に頼もしい限りである。唯我が日本に於ても驟かに出生率低下の傾向が窺はれ、臺灣に於てさへ幾分遞減の趨勢が始まつたのではないかと思はれる。將來に於ける顯著な出生率低下を防止する事と、斯くして生れ出でた生兒をして身心共に日本國民として立派に成長

せしめる事とが今後の問題である。圖中最後の年次（昭和十二年）に於ける順位で見ると、日本の次ぎは伊太利、續いて獨逸と樞軸國が並んで来る。茲で注意に値するのは、獨逸の出生率變化であるが、元來獨逸は伊太利と共に、歐洲列強中出生率の高い國であつた。大正五年乃至九年の低死亡率は戰爭の爲めであるから仕方もないが、戦後相當な高さに迄恢復した出生率が爾來他の國で見られない程急激に下降し、昭和七年には茲に掲げた圖中で最低の出生率とさへなつた。人口政策的

#### 第一圖 列強の生産率

(人口千に付)



に獨逸の危機が傳へられ、昭和八年ナチスの政權把握後は、獨身税の賦課、結婚費用貸付制度の創始等積極的な出生増加政策を採つたので、觀面に効果があらはれて出生率が恢復したわけである。但し夫れでも尙人口千に對して二〇に及ばず決して高い出生率とは云

ひ得ない。

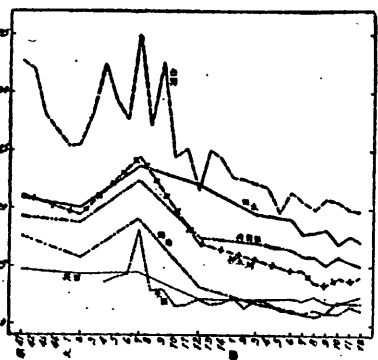
次に米國の出生率は殆んど同じやうな勢で低下して居るが、民主國としては尙最高率である。最後は英國と佛蘭西であり、佛蘭西の出生率が低劣な事は、以前より知られて居るが近年は他の諸國でも出生率が下つて來たので相互の間に顯著な差違がなくなつた。一時は獨逸をも凌いで居た事が圖表で知られよう。

#### 第二圖 死亡率の比較

死亡率も嚮きの如く昭和十二年の率の高低に従つて順次見て行くと、之れ亦日本特に臺灣が高い。死亡率の高いのは自慢にならぬのだから、何とか之れを低減して不名譽な首位から降り度いものだ。次に死亡率の高いのは佛蘭西である。佛蘭西は出生率が低いのに死亡率だけは高い。以前は伊太利、

夫れに此の圖には書いて無いが獨逸も亦、佛蘭西より死亡率が高かつたのであるが、色々衛生施設の改善により、死亡率がぐんぐんと低下した。佛蘭西の死亡率も漸次低減はして居るのだが、獨逸に較べると下り方が緩慢であり、歐洲の列強としては獨り後へ取り

#### 第二圖 列強の死亡率(人口千に付)

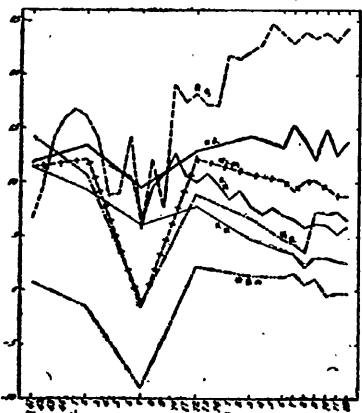


遣されたと云ふ状態である。次いで伊太利の死亡率も決して充分低くなつた

とは謂へないが、佛蘭西に比べては、顯著に衛生状態改善の跡が窺へる。残りの英獨米三國は大差の無い死亡率を有し、佛蘭西よりも劣つて居た獨逸が、第一次大戦後急速に死亡率を減退せしめ、英國をも乗り越して、米國と最低死亡率を争ふに到つた事は誠に見事な限りである。

圖を仔細に檢べられると英米佛の民主三國に比し、獨逸樞軸の衛生状態改善が微笑ましくも見て取られ、佛蘭西が窺はれるやうに思はれる。夫れにしても我が日本の高死亡率はどうであらうか、大體としては漸減の途上にあると云ひ乍ら、他の諸國に比して遜色ありと見られぬだらうか。慎重自省の上一段の考察努力が無ければならぬ。

第三圖 自然増加率の比較



第三圖 列強人口の自然増殖率 (人口千に對する出生と死亡の差)

前記出生率と死亡率との差に依つて、自然増加率の比較が出来る。第一次世界大戦及び夫れ以前は少々雜然として居るが、其の後は殆んど自然増加率大小の順序が略一定して居る。即ち日本を首位とし、伊太利之れに次ぎ、久しく米國の下位にあつた獨逸も亦チナスの治下となつて一躍米國を乗越え、日獨伊の順序となつて、特に臺灣

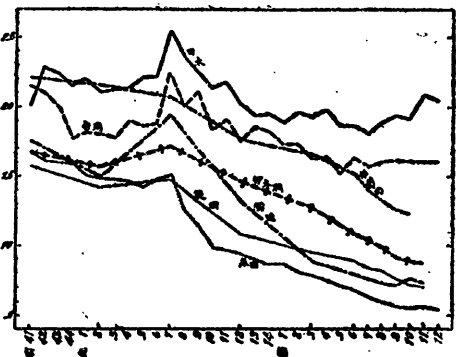
の自然増加率は驚異的高率を示して居る。

第四圖 結核死亡率の比較

特殊疾患の随一として結核死亡率の比較を試る。此の圖表を見る事は敢て筆者一人と云はず、恐らく日本國民全體が最も苦痛と感ずる所であらう。

成る程日本は以前より高い結核死亡率に悩まされて居つた。併し乍ら歐米に於ける他の諸列強に於ては、其の後更に顯著に結核死亡率を減退せしめて居るのに、日本、臺灣に於てはどうであらうか。勿論長い間の趨勢として見れば、茲にも幾分なり漸減の傾向が認められぬでもない。併し乍ら日本及び臺灣の結核死亡率曲線を佛蘭西の夫れと比較して見よ。佛蘭西は他の諸國に比して特に結核死亡率の改善著しき

第四圖 列強の結核死亡率 (人口一萬に付)



國ではないが、夫れにも拘らず、佛蘭西の曲線が日本を取り残し、臺灣を乗り越えて、どん／＼下降して行くではないか。何が故に日本の結核、臺灣の結核のみが斯くもしつこく低下せず、近年は却つて上昇の傾向をさへ示すのであらうか。嚮きに 皇后陛下が

特に此の結核豫防の爲めに有難き御令旨を賜り、御内帑金をさへ下し給ふたのも、全く斯の國難的事實の排除をお勧めになつたものと推察される。

他の諸列強の結核死亡率は何れも顯著に減退を示して居るが、特に獨逸の夫れが著しい。特別新奇な治療法、治療案と云ふものが無くとも、充分な療養所や相談所の施設、早期診断、早期治療の實行、患者家族の監視的養護、青少年身心の鍛鍊、等常識的な事項を唯着々と廣く實行する事に依つて、各國は以上の如き成果を得たのである。問題の重要性を正しく認識し、狐疑遠慮なく、必要な事項を断じて行ふの覺悟ありや否やが結核豫防の實績を舉ぐるか否かを決する核心であると信ずる。

第五圖 乳兒死亡率の比較

最後に出生百に對する一歳未満兒童

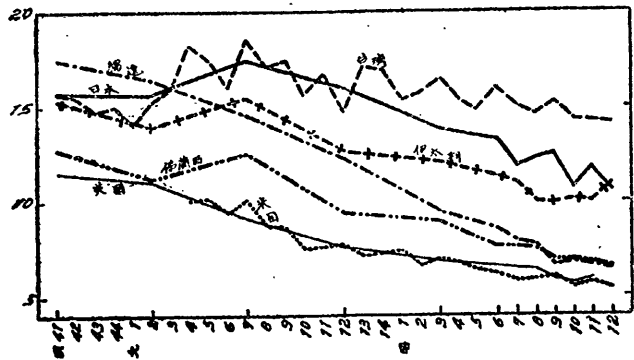
の死亡率、即ち乳兒死亡率の比較を掲げる。將來強健なる國民を多數に得んとするならば、出生率高きのみならず乳幼兒の健全なる養育に努めなければならぬ。乳幼兒の保育が充分に行はれ、彼等が充分健康であるか否かを示す數字の一つが、此の乳兒死亡率に外ならぬ。其の意味で見ると日本特に臺灣の乳兒死亡率は寒心に堪えないものであり、伊太利も亦高い乳兒死亡率に悩んで居る。所謂「樞軸國」としては唯獨逸のみが、以前の高い乳兒死亡率を確實に着々と克服して居り、英米佛は略獨逸と同様乃至之れ以上の好成績を擧げて居る事が認められる。

我が國現在の状態では、子供が多數生れても二十七・八人迄は徴兵適合に達せずして夭折する。獨逸或は英米佛現在の程度にまで乳幼兒及青少年の死亡率を減退せしめ得たとすれば、上記



第五圖 列強の乳児死亡率

(生産百に對する一歳未満の死亡)



の犠牲者が半減して、二十歳に達し得ない者は僅か十二・二人となる。之れは国防上からも、又産業方面からも、

我が國運の進展に大影響ある事實なのであるから、輕々之を看過する事が出来ない。近來當局に於て特に乳幼児保護、延いては又母性の保護に力を注ぐ所以の者も亦實に茲に存する。唯に政府が此の方面に力を注ぐと云ふのみでなく、一般の國民全部が此の意を體して、身心共強健なる第二國民の養育に努めなければならぬ。

尙、最後に一言附記致したいのは、各方面に産兒奨励の言葉を聞くが、産兒とか育児とか云ふ事は、子供のおまゝ、事のやうに生やさしい事ではない。夫れは兩親たる者に、又國家に對しても、少からぬ苦勞、負擔を掛ける。其の負擔、其の苦勞にも拘らず、多數の兒童を産み、之れを育てる事が、現時局の吾人に命ずる責務であり、吾人の覺悟でなくてはならぬのでなからうか。

### 本島の特殊醫療機關

#### 僻地には公醫

改隸當初に於ては、未だ醫療機關に乏しく、公衆衛生上特に醫師配置の必要を認め、明治二十九年臺灣公醫制度を設け、手當を支給し、指定の地に開業せしめ、一般の診療並に公衆衛生と醫事に關する事務に従事せしめ、又傳染病豫防、檢案、診斷、鑑定事務に従はしめつつある。昭和十四年度末の平地に於ける公醫數は二七九名で、その患者延人員は内地人四〇〇、二五四、本島人三、二七六、一〇八、その他で、公醫一人平均一日取扱患者は三六・一六人といふ數字になつてゐる。

人が結核に感染してゐるのかどうかは、ツベルクリンの反應を検査することに より略々確實に知ることが出来る。従つて先づ集團の全員に就てツベルクリン検査を施行すれば、その集團生活者は結核に感染してゐる人と未だ感染してゐない人とに二分される。反應の出ない人は假令瘵せてゐても、又微熱などがあつても、先づ結核ではないと云ふことが出来る。反應の陽性者は結核に感染したところのある人であるが、結核の場合、感染しても發病する人はむしろ少部分で他は發病せず、従つてツベルクリン反應が陽性でも結核患

者ではないのである。そこで既に感染して居つて現在發病してゐる人と發病してゐない人との區別が必要であるが、之はエックス線(又レントゲン線とも云ふ)の検査によるのが最も確實である。即ち苟くもツベルクリン反應陽性者は残らずエックス線の検査を受けて現在罹患してゐるか否かを決めなければならぬ。エックス線検査の方法としては、從來最も普通に用

### 結核の早期發見

#### ツベルクリンの反應 レントゲン線の検査

が、検査に時間がかかるのと、検査する人の體を損ふのとで、之亦大衆用にあまり適當でない。然るに最近間接撮影法と云つて透視法による螢光板上の像をカメラで縮寫撮影する方法が登場し、經費の廉價と操作の簡易なる點に於て集團検査用として採用されるに至つた。殊にこの一二年間に間接撮影装置の改良に長足の進歩を見、一時間二三百人の検査が可能となり、而も機械を隨時運搬して出先で實施することが出来る様になり、エックス線集團検査の普及に非常な効果を擧げつゝある。



## 清潔な國民は興る

臺北帝大教授  
醫學博士 澤田藤一郎

渡臺後、何時の間にやら二箇年の歳月が流れてしまつた。始めはわからない土着の人の言葉をきいては、外國にでも行つて居る様な異國情緒に驅られ、熱帯植物のひろい葉を見るのも珍らしく、灼熱の太陽にはあへぎ、また暖い冬を寒がる人々を可笑しく思つたのであるが、何時の間にもやら瘠高い言葉にも、丹碧の色にも馴れ、熱帯植物も内地の松柏の如く普通のものとなり、夏の暑さもさう感じなくなり、之に反して冬の寒さをひし／＼と感じて來た。始め來

た時は顔の色が内地色であると褒められたが、近頃は誰も褒めて呉れる人がなくなり、それと同時に澤山の知人が出來て、土地の事情にも段々あかるくなるにつれ、知らない間に臺灣つ兒になつてしまひ、臺灣の悪口を云はれ、ば良い氣持がしなくなり、此の土地に愛着を感じる様になつた。

元來臺灣は瘴癘の地として清國が之を棄て、顧みなかつたものなさうであつて、吾國が銳意之を經營し、現今の様に見える立派な状態になつ

たもので、之を五十年前の昔の状態と比較するならば、實に隔世の感があること、思はれる。しかし私をして云はしむるならば、まだ／＼發達の途上にあるのであつて此の土地に愛着を感じる程、一日も早く之をもつと立派なものにしたいと衷心より熱望する。それが爲には敢て苦言を呈するを許して貰ひ度いものと思ふ。

今度の歐洲大戰に於ける獨逸の活躍は物凄く、結局獨逸は勝利の榮冠をかち得、歐洲の覇者となることであらうと思はれる。従つて吾々が獨逸を範とし之に學ぶものが多々あるに違ひないが、私が獨逸に居つて最も感心したことの一つは、獨逸國民が非常に清潔であるといふことであつた。獨逸の首府ベルリンでは街路

に煙草の吹殻を捨てると罰金を課せられる。従つて街路は實に清潔であつてごみ一つ落ちて居らない。田舎に行つても同様に清潔である。然るにフランスのパリに行つて見ると、可なり亂雑であつて街路には煙草の吹殻が落ちて居る。ごみも散らばつて居つて之が直ぐ眼につく。獨逸人は非常に掃除好きであるが、フランス人の生活振りを見るにあまり掃除好きで無い様である。少くもフランスでは獨逸より掃除がすつと行き届いて居らない。人間や、その住宅や、街が清潔であるといふことは、社會萬般の制度も秩序正しく整然と行はれて居ることをうかゞひ知らしむることであつて、今度の大戰で清潔なる獨逸民族が勝ち、不潔なるフランス民族が敗けたのは當然である



晝休みにラヂオ体操する

かし黄色人種の中で最も清潔たる民族は日本民族であり、最も不潔なる

と云ひ得る様に思ふ。更に黄色人種を白色人種と比較して見るに、一般に黄色人種は甚しく不潔である。し

民族は支那人であると思ふ。しかし此の度の支那事變に於いて、日本が勝ち支那が敗れた。かく觀じ來れば、清潔なる民族が興り、不潔なる民族が敗れるといふ法則がなり立つ様である。民族が清潔なる場合には傳染病その他の疾病にかゝる機會も少く、従つて死亡率が減少し、それだけ人的資源が増すわけである。また精神的にも淨化せられ、民族の意氣昇進し、その他社會各方面のことも清掃せられ、その力を能率良く發揮し得るので、國が興るのが當然であるといはなければならぬ。

ひるがへつて臺灣、臺北市の狀態を顧みるに、臺北市は實に立派な都市計劃のもとで立てられ、道路も廣くよく舗装せられて、西洋におとらない立派な都市である。しかるに街

路には煙草の吸殻が放置せられ、ごみが散乱して居り、之は市民の訓練が出来て居らないことを如實に示して居る。殊に大稻埕方面が之がひどい様に思はれる。街路や車内に痰をはくと罰せられることになつてゐるので、近頃は舗道の上に吐きすてられた痰をあまり見なくなつたが、それでも時々痰を吐き捨てるのを見ることがある。結核は空気傳染によつて傳搬するものであつて、街路に吐かれた痰より散布せられることを思ふならば、痰を街路や車内に吐くことは、最も非衛生的であり、非道德的であり、教養のないことを示すものたることは論ずるまでも無いことである。臺灣の首府である臺北市にしてかかる状態であるので、臺灣の他の都市又は田舎の状態はおして知

るべしであると思ふ。私は臺北の郊外に近いところに住んで居るので、日曜の散歩の際等に、よく小さな部落に入ることがある。その部落の人々がその家の前の溝でよく洗濯等をして居るのを見るが、それと同時にそのそばで食器を洗ひ、或は食物を洗つて居る風景を屢々見うけ、此の所謂糞も味噌も一緒にして居る生活ぶりを見ては、全く呆氣にとられてしまふのである。土着の人は料理法として必ず物を煮てたべるさうであるが、家の前の溝で洗つた食器を煮るわけであるまいから、之に盛つた食餌は汚染せられて居る譯であるから、傳染病にかゝる危険があると云はなければならぬ。用水にかゝる状態であるから、その他の生活状態の非衛

生的であり動物的であらうことは、おして知るべきであると思ふ。之から暑くなつて來るのであるが、あの汗臭いしかも内地では嗅いだこともない一種特有な汗の腐敗した様な臭氣のするバスの中の、人いきれば實に堪へ難い不愉快なものがある。之は全く熱帯地なのに毎日風呂に入つたり、行水をつかつたりして汗を洗ひ流し體を清潔にする習慣が無いからであると思ふ。かかる生活状態であるので、腸チブスにかゝる機会も多いのであるが、その死亡率も高い。之は全く病氣に對して割合に無智であるので、重症になつて手がつけれなくなつてから入院するからであると思はれる。熱が高いのかゝはらず安静を守らず、動いて居り、偽に病氣を悪

化せしめるのであると思はれる。吾々の體温は攝氏三十七度以下三十六度代であるので、體温が三十七度以上あるならば、之は病的で熱があると認めなければならぬ。熱は安静を守れ、といふ警報であつて、安静は熱のある場合の最も大切な治療法である。熱の有無を知る最も確實なる方法は、検温器であるが、本島土着民にして之を有する家庭は甚だ少いものであると思ふ。家庭に検温器を持つて居るか否かは、その家庭の病氣に對する心がまへ、教養を示すものであつて、大衆の保健衛生上、各家庭に検温器を一本備へる様に衛生思想を向上せしむることが必要であると思ふ。斯る程度まで一般の衛生思想を向上せしむる必要があるのであるが、前述の如くまだ

一般大衆の家庭では用水の設備が實に不完全であり風呂にもあまり入らず、街路にごみをすて之を不潔にして顧みない状態である。之は實



(山登)

れは支那式の食餌の食べ方であつて、食餌にあたつてたべ残りや、骨等を床にすてる習慣になつて居るが、之は實に言語同斷である。斯る骨等は之を皿にとるべきであるのに、床に捨て、顧みないのであるが、之が習性となつて不潔を何んとも思はない習慣になつたものと思はれる。吾々は先づかうゆう點より改良して行く必要があると思ふ。前述の如く清潔なる國民は興り不潔なる國民は衰微する。支那南洋を清潔にするのが今次聖戰の一つの目的であり、本臺灣がその聖戰の一大據點であると思ふにつけても、一日も早くわが臺灣の一般大衆の衛生状態が向上し、街路に煙草の吸殻一つも落ちて居らない様な状態になりた

いものである。

# 療養所の話

松山療養所長 佐藤敏



今次事變勃發以來、我が帝國は東亞共榮圏建設、高度國防國家完成なる未曾有の大事業を目指して、各種資源確保に人的資源涵養に、あらゆる努力を拂つて居る事は衆知の事實であります。  
此人的資源確保に關しまして、我が國民の健康を蝕む主なる疾病を考へて見ますと、結核、花柳病、トラホーム、其他種々雑多であります、就中結核

の蔓延著しく、其被害の甚だしきも、亦よく知られて居る所であります。  
我が日本全國最近に於ける結核死亡は、年々十五萬人と稱せられ、人口一萬に對し二〇・六、其内肺結核のみにも、一四・八の多きに昇つて居ります。之を英國の人口一萬に付き八・四、獨逸の七・六、佛國の一三・九、伊太利の一・二、北米の六・二等に比較致しますと、其間非常に大なる相違を見ることが出来ませう。  
臺灣に於ては如何であるかと云ふに、唯一の結核處女地と認められて居るのは火燒島のみでありまして、其他には到る處蔓延せざる處とて無く、結核死亡数は年々八千餘人の多數を計へ、其内肺結核死亡は七千餘人で、實に、總死亡の約八パーセントを占め、肺炎、下痢及腸炎に次ぐ主要疾患をなして居ります。臺灣に於ける結核豫防

法は、内地よりも遅れて、昭和十二年を以て施行せられました。最近島民の結核に對する關心の、頗り向上せられましたる事は、御同慶に堪へぬ處であります。  
畏くも 皇后陛下に於かせられましたは、昭和十四年四月二十八日優渥なる御令旨を賜はり、且つ多額の御内帑金御下賜の御沙汰あらせられましたる事は、誠に有難き極みでありまして、國民の等しく忘るゝ事の出来ぬ次第であります。

松山療養所は、臺北州七星郡内湖庄東新庄子にあり、敷地約一萬五千坪、附近は丘陵、湖水、青山、遠くは大屯、七星連山の眺望宜敷く、空氣亦從て清潔であります。大正四年の創立でありまして、當時は錫口養生院と稱し、病床三十二を有し、臺北廳長の管理する處でありましたが、大正十四年總督府

に移管せられ、松山療養所と改稱せられました。昭和五年レントゲンを裝備し、同八年病床を合計五十二に擴張増加し、次で臺北市の上水道を延長敷設



松山療養所の内部

致しました。然るに最近國民地位の向上に關聯し、結核問題が重要な國策として登場する事となつて、時の總督

小林大將の英斷により、昭和十二、十三の兩年度に互り、收容定員百名の近代的病棟が一舉に新築せられ、昨年末に完成、従來の面目全く一新せらるゝに至りました。  
尙ほ島内各州市に於ても、續々療養所新設の運びとなり長い間歎きの種子であつた病床不足も、此處に始めて緩和せらるゝ事となり、患者の爲に、誠に喜ばしき次第であります。

終りに治療方針に就て簡単に述べて見ますと、第一に安静であります。安静に依つて、解熱其他の好轉が認められ、反對に軽度の運動に依つても健康者と違ひ、種々悪影響を蒙る事あるは、如何なる病氣でも同様であります。結核患者に於ても、よく注意せねばなりません。療養所では安静を守る上にも靜肅時間を設け、重症患者は勿論、快復期に入り運動を許可せらるゝ

に至つた者でも、皆一齊に行ふ事とし、特に念を入れて居ります。又長い間の安静で、患者が怠屈する事のない爲には、讀書、ラヂオ、花卉、其他の娯樂も、時を定め、病症に應じ用意してあります。第二に、開放空氣療法であります。清淨な空氣浴は、溫和な鍛練となり、空氣イオンの關係等もあつて、精神的に爽快に作用致します。第三は營養であります。前大戦後、獨逸に於ける結核死亡率が増加した事は、全く食糧封鎖に遭つた爲だと云は

れて居ります。就中脂肪の多いもの、例へば、牛乳の如きものが、必要でありまして、各人種の肺結核死亡最多年齡の相違も、主として、之に原因するものと説明せられて居ります。即ち我が日本に於て、肺結核死亡最多年齡は、二十歳乃至二十四歳に該當して居りますが、脂肪を多量に攝取する歐米では、何れも五十歳前後であり、臺灣に於ても本島人は、五十歳乃至五十四歳である事は、統計が示すところでありまして、之は多分に食事の營養素の相

## 防 げ 結 核 銃 後 の 守 り



### 時局下に於ける 小児の營養養

臺北帝大教授  
醫學博士  
酒 井 潔

た。同時に如何なる食料難にも堪へ、營々として働くといふ不撓不屈の覺悟は、どんな重壓をも見事に跳ね返して仕舞ふだけの力を、培ふものだと云ふ事實を示して呉れたのは、現在の獨逸である。さてこの獨逸が過去二十年間に、將來を背負つて立つ小児に重點を置き、如何に之を保護したかは、我々の想像の及ばぬ程であつた。特に小國民の體力強化の意味に於て、乳兒、幼兒及び學童の營養には周到な注意が拂は

#### 二

時局下の我國に於ても、特に小兒保護の問題に關して、慎重に考慮せねばならぬのは、小児の營養問題であると思ふ。殊に臺灣では育兒知識の普及さへも未だ淺さかつただけに、影響する所が大である。先づ乳兒營養の最善は母乳によることである。處がこの母乳

戰爭が長引けば長引くほど、食料資源の不足を來たと云ふ事實を、残念ながら我々も亦認めねばならなくなつた。然しこの苦難を最も深刻に嘗めたのは、何といつても過去の獨逸であつ

た。同時に如何なる食料難にも堪へ、營々として働くといふ不撓不屈の覺悟は、どんな重壓をも見事に跳ね返して仕舞ふだけの力を、培ふものだと云ふ事實を示して呉れたのは、現在の獨逸である。さてこの獨逸が過去二十年間に、將來を背負つて立つ小児に重點を置き、如何に之を保護したかは、我々の想像の及ばぬ程であつた。特に小國民の體力強化の意味に於て、乳兒、幼兒及び學童の營養には周到な注意が拂は

の分泌を促す爲には、乳婦の食料資源を確保する必要がある。即ち米の配給に際し、乳婦には特別に其の割當數量を増すべきであるといふ識者の意見には同感である。又他方に於て所謂人乳集配機關を設け、天恵の養食品の餘分を頒ち與へることも、場合によつては試むべき必要がある。尤も此際母乳を集め、之を消毒して配布する方法は、人乳の效力を失ふものであるから宜しくないと言ふ論者もある故に、直接乳房養に依らねばならぬこと、思ふが、之も所謂愛隣運動に訴へてやれば可能である。次に人工養食品として現在の小兒科學では牛乳(市乳)が一番よいことになつてゐる。然し之も飼料の關係で量の不足が氣遣はれる際、一部では山羊乳の使用を奨励して居る。市乳に次ぐ人工養食品として粉乳がある。處が近來特に臺灣でも粉乳缺乏の

爲か、或は配給制の不備な爲か、不足を訴へる向が少くない。又實際に一定の種類を引續き入手することは不可能に近い。更に全國的傾向として現時粉乳の増産を希望する聲が高い。次に現今煉乳が乳兒養食品として指定されて居る様であるが、これは學的検討によつて、既に牛乳代用品としては不良の折紙がつけられて居て、煉乳を乳兒養食品から除外すべしと云ふ決議が、今年の小兒科學會でなされた位である。いくら時局下だからと言つて、之を乳兒養食品として指定するのは育兒學的に見て遺憾に思ふ。

然し乍ら事ここに至る迄の當局の苦心は、大に多とせねばならぬし、又何處迄も國策の線に沿つて協力すべきであるから、一方に於て粉乳増産を要望するとして、それ迄は市乳の得られない地方の人工養食品に、粉乳の優先配給を與へ、何處までも學理的に遺憾のない養を講すべきである。現に散見される穀粉養養障礙といふ病氣などは、乳汁の代りに穀粉煎汁を以て養する爲に起るもので、育兒知識の未だ幼稚であつた過去の遺風であるが、この時局下に再び多發することのない様にしたいものである。

三

乳汁と關聯して問題となるのは、先づ砂糖である。人工養食品を牛乳で養する爲には、一日約五〇瓦の砂糖が必要であるから、現在の切符制による月〇、六斤では、どうしようもない。理想から言へば之等の乳兒養食品として、別途の配給を考慮すべきであると思はれる。然し之も切符制になつて限定されて居る現在であるから、人工養食品をもつ家庭では、料理用の砂糖を節約して乳兒に充てねばならぬ。

次に育兒用の米及びその製品、例へばピオスマール、穀粉、グリース又はひきわり米などは乳幼兒にとつて糖類と共に必要欠ぐべからざる食料であるが、その數量から言ふと甚だ微々たるものであるから、之に事欠ぐこともあるまいと考へられる。處が米穀政策により大量の米の入手が困難な結果、米製品の製造難、延いてその缺乏を見るやうになつた。このことに關し之等の育兒用米を醫藥品に準せしめたらばと言ふ人もある。一體この様に迄して、育兒用米製品を確保せねばならぬ理由は、要するに離乳期に多い消化不良症の危機から乳幼兒を救はんが爲めである。

實際に消化の點から見ると、白米が最もよいのであつて、胚芽米にしても七分搗の法定米にしても、消化の點は

劣つて居る。このことは昨年臺灣に於て節米が行はれた當時、米質の變化に伴ふ乳幼兒胃腸疾患が多かつたことに



よつても明かだ、村上氏が社會事業の友誌上に發表したところである。又胚芽米使用後に於ける小兒糞便中の胚芽殘存狀況に就て檢べた田村氏による

と、年齢の幼若なもの程、胚芽殘存率が高く影響の大きいことが明にされた。

従つて乳幼兒に對しては米の用ゐる方を工夫することが此際必要であるといふことが分る。この意味に於て齊藤氏の報告は興味深いものがある。胚芽の入つた米を離乳期の小兒に與へる場合、粥の形にした後、之を裏濾にかけると、胚芽の中にあるビタミンが裏濾された粥の中に移行し、白米粥よりも適に有効に作用するといふ發表であるが、七分搗の法定米でも恐らく同じことが考へられるから、單に粥のまゝでなく、裏濾の形で乳兒に與へるのが安全なよい方法であると思ふ。

五

一般に小兒の養に就て大切なことは、大人の場合と違つて生命を維持して行くわけではなく、成長に必要な養分を一緒に攝らねばならぬ點であ

つて、體重から割り出した食餌の必要量は、大人に比してずつと高くなつて居る。例へば大人では體重一匁に付いて四〇カロリーの榮養分であり、小兒では一〇歳前後で七〇カロリーの榮養分であり、五歳では九〇カロリーの榮養分を要する。又榮養素も含水炭素、脂肪、蛋白質の他、礦物質やビタミンなど多種の榮養素を攝り入れる様心掛けねばならぬ。

今幼児や學童の榮養に就て特に成長と重要な關係にある蛋白質に就て述べて見たいと思ふ。先づ乳兒の場合を見ると、九箇月の母乳榮養兒が一日に攝る蛋白質は、一日八乃至一二瓦の間で、體重一匁につき一・五瓦に相當して居る。然も之れだけで活潑な成長を遂げるのであるから、乳兒では蛋白質の成長所要量は夫れ程高くない。又大人で

は體重一匁に對し一瓦あれば生命維持には充分である。處が幼児や學童ではその所要量はすつと高くなつてゐる。最近我が教室で檢べた結果では、一〇歳前後の小兒に體重一匁に付て五〇乃至六〇カロリーの相當する丈の米飯のみを與へた時の蛋白質の攝取量は、體重一匁に付いて一・七瓦であつた。又この値は辛うじて生命維持量であつて、成長所要量には達して居ないことを知つた。即ち成長の爲には更に豊富な蛋白質の供給を受けねばならぬ。普通之が爲に年長兒では體重一匁に二乃至三瓦の所要量となつて居る。

次に又成長期の小兒では、大人より蛋白質の質に左右され易い蛋白質には種類が二十數種もあつて、各々が別個の作用をもつて居り、生命維持の爲の蛋白質は必ずしも成長の爲の蛋白質ではない。又成長促進作用も種類によつ

て差があることも知らねばならぬ。大別すると植物性蛋白と動物性蛋白とがあり、植物性では米の蛋白は優秀の部に屬して居るものである。又蛋白質の供給源としては大豆は極めて優れて居る。然し成長の爲めには所要量の一部分を動物性蛋白質によつて供給することが、一層よい結果を得ることになる。人によつては蛋白質の半分を動物性供給源により仰ぐべきであると述べて居る。

六

次に蛋白質の消化吸収といふ事も、大に關係がある。其の吸収率に就ては食品の加工や調理の方法如何によつて異なるものであるが、一般に動物性蛋白質の消化吸収率の方が、植物性食品中のそれよりも遙に高い。前述の我が教室の檢査に於ける米の蛋白質の吸収率

は、七〇パーセントに過ぎなかつた。以上の理由によつて幼児や學童の食事は色々な種類をとり入れて、合理的な献立を工夫する必要がある。殊に時局下一方には節米といふ主食物の制限があり、他方には豚肉、鶏卵、バター或は豆腐など副食物の缺乏する時、多少とも榮養學的常識を養つて、小兒榮養に遺憾の無い様に心掛けねばならぬ。

七

最後に園兒や學童の毎日の辨當が、果して學的立場から見て満足すべきかと言ふ點を述べて見たい。之に關して或人は榮養分から計算し、一日の保健食料の三割を辨當に充てるのがよいと言つて居る。之を標準に、何千人かに就て調査した結果、及第した辨當は僅に二五パーセントに過ぎないと報じて居る。然もこの合格した辨當の持主に

てゐる。それでは辨當をどういふ風に改善すべきか、その注意として御飯の量を今少しく多く標準まで充たすこと、又夫れが爲には年齢に即した辨當箱を選ぶこと、幼稚園兒では小(米飯量一五〇瓦)、小學校下級では中(二五〇瓦)、上級では大(三〇〇瓦)が適當である。又副食物は蛋白質を主にし、假りに一色で必要量を充たすには卵は園兒で一個、小學校下級で一個半、上級で二個となり、牛肉では四〇瓦から七〇瓦、鯛では四五瓦から八五瓦、鱈や鰯では四〇瓦から七〇瓦、小鯛では三尾から六尾、蒲鉾では一枚から半枚といふ所である。然し副食物は一品丈でなく、二品、三品と取混ぜて、之に鹽類やビタミンを含ませる様にすることが、毎日では小兒の發育上面白い。要するに小兒の食餌は、偏らぬ様

に、又量も充分に與へ、時局下食料資源の不足する時、大人は節食しても小兒にだけは空腹の思をさせたくない。

本島に於ける  
醫療機關

昭和十四年末に於ける本島の醫事機關には二百八十四の官、公、私立醫院と、二百七十九名の公醫、千三百二十八名の開業醫師、四百十一名の官公立醫院及び官衛奉職醫師、四百七名の齒科醫及び十七名の齒科專門標榜、百四十一名の醫生、千八百十三名の産婆がある。藥事機關には官公立醫院及び官衛奉職藥劑師八十一名、開業藥劑師百七十名、製藥者二十六名、藥種商中津藥取扱者は三百三十三名、漢藥取扱者は千八百三十六名、賣藥製造業八百五十三名、賣藥販賣業者六千五百九十六名等がある。



# 母性の保健



臺北帝大教授 醫學博士

眞柄 正直

國家百年の計が人を種うるにあることは、原に明らかであるが、殊に現下の日本に於ては、この人的資源の増強が最も重要な問題である。人口の増加は出生率の増強と死亡率の減少に乳幼児の死亡率の低下によつて達せられるものである。

出生率の増強は妊産率の高上と流早産の防止によつて得られるのである。而して、この二つは母性の保健に留意することによつて始めて成就するのである。

母性の保健には三つの必要事項がある。その一は女性自身の健康保持に對する留意である。

その二は之に携る醫師、助産婦等に保健輔導の心がまへの問題である。

その三はこれを目的とする公の施設の整備である。

## 女性の健康保持

第一の問題に就て云ふならば、女性は己れの健康の保持に必要な智識は常識として持つて居て欲しいこと、並に常にこの智識を活用して自分の健康保持に努力を拂ふべきことである。

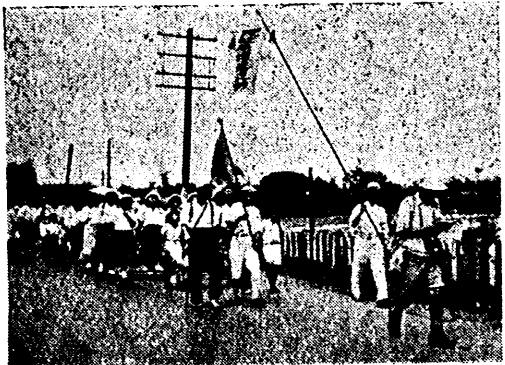
一般に斯る智識に乏しく、又これを得ようとする努力を缺き、更に又、己れの健康状態に極めて無關心な女性が多くは無からうか。

例へば女性は概して生活が不規則ではなからうか。女性は男性と異つて多くは家庭内で働くために、その仕事の性質上これも已むを得ないと云へば云へるが、心懸け一つでむしろ男性よりも規則的な生活が出来るものと自分は考へる。自分に云はせれば、健康保持の第一は規則的な生活である。起床の時間、食事の時間、就寝の時間或は排便の時間等すべて規則的でなければならぬ。女性に便秘の多いのは——而もこれは保健上極めて有害なのであるが——排便の時間を不規則にして居るためである。

食物は偏らずなるべく色々の種類を攝り、殊にビタミンを充分に取る必

要があることは、知つて居ても毎度の食事にこれを念頭において調理する女性が幾人あるであらうか。

體育に關してもさうである。一日に



體位向上ハイキング

一定の運動をすること、野外の新鮮な空氣を吸ふことが衛生上極めて好いとであると、知つて居ても、毎朝早

く起きて庭に出て、ラヂオ體操をする女性は幾人あるであらう。

衣服についてもさうである。柄、色合ひ、恰好等については殆んどすべての婦人が極めて神経質である。これは必ずしも悪いこととは思はないが、衣服の目的即ち保温の状態、身體の發育に對する適合等に就いて更に意を用ひる必要はなからうか。泳ぐやうな歩き方をしても、足の發育、更にひいては骨盤の發育に悪影響のあるハイヒールをはく必要があるのであらうか。

妊娠中殊に初期の三、四箇月と末期の一、二箇月は、適宜の運動や平素の仕事以外はなるべく安靜にすべきであることは、大抵常識である筈であるのに、わがまゝで旅行をしたり、スポーツをやり過ぎたりする女性のあるのはどう云ふものであらう。

又妊娠中に浮腫が現れるのは、極め



て危険な疾患の前徴であることを知らず、又これを知つて居ながら、ものぐさのために放置しておいて、取り返しのつかない状態になつて、初めて病院を訪ねる女性の絶えないのは、何故であらうか。

母性はもつと、自分自身の健康保持に注意して貰ひたいものである。

#### 助産婦の心構へ

第二の問題即ち醫師や助産婦の心がまへとしては、國家の使命に醒め、その責務が非常に重大であることを充分に自覺して、自分一個の立場のみにとらはれず、國家的の立場から母性の保護に任ずることが必要である。

#### 母性の教育機關

第三の問題、即ち公の施設としては極めて多くのものが必要である。

先づ第一は、母性の教育機關である。先にも述べたやうに、個々の女性

が己自身の健康に留意することの少ないのは、一には無關心と云ふことも考へられるが、多くは無智によるものである。従つて一般女性に對する教育が必要となるのである。先づ國家的立場よりの精神教育は勿論のこと、衣食住等の衛生に關する智識養育に關する智識、妊娠分娩更に育児に對する智識疾病に對する簡単な智識等を國民學校の上級の頃から始めて、女子中等學校、女子青年學校等と順を追ふて教育する必要があるのである。

と同時に、その指導をなすべきである。又更に性病、結核等に對して婦人を保護すべきである。

性病は婦人の労働能力を低下させるのみならず、不妊の原因として大きな役割をなし、又實に流早産の原因となるものである。近時性病豫防の立場から、特種業態者の定期検診を實施することゝなつたことは、一つの進歩ではあるが、家庭内の婦人の中にも知らないうちに、夫から性病を感染して居るものゝ数は少なくないのであるから、家庭内の婦人も自ら進んで相談所に行つて、健康診断を受けるやうにすべきである。斯る場合に相談所では、親切丁寧に恥かしい思ひをさせないやうに相談に應じ、治療の方法を教へ、又治療を施すべきである。

更に母の學校或は母講習會などを度々開催して、一般母性を再教育するとともに、新しく智識を注入する必要があるのである。

#### 性病と結核

次は婦人健康相談所の設置である。此の施設を全國にくまなく配置して、婦人の健康保持に關する相談を受ける

流早産はせつかく妊娠した胎兒を無爲に死亡せしめて、人口増殖上極めて大きな障礙をなすとともに、母體に對してもその悪影響は甚大である。日本の流産の數は一箇年約二〇萬即ち全出生數の約五分である點から考へても、これが如何に重要な問題であるかが判る。

細心の注意を拂つて居れば、多數に於てこれを豫防し得るものであるから、妊婦相談所に於ける妊婦の定期診察は、極めて重要な意義を有するのである。

性病は先に述べたやうに、婦人健康相談所に於て、結婚前又は少くとも妊娠前に完全に治療しておくべきものであるが、時に之に漏れる場合があるから、妊婦相談所に於ては必ずすべての妊婦に就て、淋疾、梅毒等の性病の有無を検し、之を治療し、流早産の防止、新産兒膿漏眼、先天性梅毒等児等の豫防を行はねばならない。

産院の設置  
次は産院の設置である。ドイツでは産院或は病院に於ける分娩よりも、自宅分娩の方が母の死亡率が少いと云ふ者もあるが、これは主としてドイツの住居の設備の良いことゝ、一般婦人に

人がこれに侵される時には、その妊娠分娩に對して強い悪影響を及ぼすものであつて、従つて已むを得ず人工流産を施さねばならない場合が多く、これが人工流産の最も多數を占めて居る現状から見ても、健康相談所はこれの豫防並に治療に協力すべきである。

結婚に對して、その當時の身體の状況或は疾病は大きな意義を有するものであるから、相談所は斯る相談にも應じ、又適當な忠告を與へるべきである。又不妊症に對する相談並に治療に關しても努力すべきである。

#### 流早産の豫防

次は妊婦相談所である。此の施設ではその地區のすべての妊娠を登録し、日常その健康状態を注意するとともに、妊娠中の健康保持に必要な知識を教へ、流早産の豫防、妊娠中毒症の豫防をなすべきである。

自然流産のみならず、人工流産の適應に關しても、眞面目に相談すべきであつて、不必要に行はれる人工流産を極力防止すべきである。

妊婦中の疾患として、最も注意すべきものに妊娠中毒症がある。即ち妊娠悪阻、妊娠腎臟症、胎毒の早期剝離、子癇等であつて、之等は胎兒の生命に危険を及ぼすのみならず、母體に對しては極めて重篤な疾患である。併しながらこの妊娠中毒症は、妊娠の初期から

産院の設置  
次は産院の設置である。ドイツでは産院或は病院に於ける分娩よりも、自宅分娩の方が母の死亡率が少いと云ふ者もあるが、これは主としてドイツの住居の設備の良いことゝ、一般婦人に

分娩に対する知識が普及して居ること、助産婦の質の良いこと等によるのであつて、全く日本とは事情が異なるのである。従つ日本に於ては、産院を設けて置くべくこゝで分娩を行はしめるべきだと考へる。

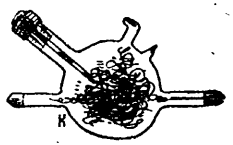
次に述べる助産婦の養成と、この産院の設置とは、大いに関係のあるものである。優良な助産婦を多数に養成し、全国にうまく配置することの必要は、言を俟たない所であるが、現在のやうな助産婦養成の方法で、果して優良な助産婦が得られるであらうか、唯、助産婦の教科書を暗記した程度のもので助産婦として免許することは極めて危険である。この目的のためにも産院が必要となるのである。即ち産院は一般婦人に健康な分娩をなさしめる

機關たると同時に、優良な助産婦養生の機關となるのである。産院に於て、教育は勿論のこと、學問並に實地の訓練を充分に與へてこそ、始めて安心して委せ得る助産婦が養成されるのである。産院の設置並に助産婦の養成増加が既に開業して居る。既成助産婦の生活に及ぼす影響を顧慮するものもあるやうであるが、之は全く杞憂と考へてよい。なんとすれば助産婦が有り餘つて居るのは、都會地の方に於ける現象であつて、田舎に行けば無醫村ととも

に無助産婦村が数多く存在するのである。又都會では既成助産婦を産院に所属せしめて、こゝで働く位置を與へると同時に、再教育を施すことも良い方法である。

産院並に優良な助産婦の増加が、如何に必要であるかを、臺灣に於ける實際の數字によつて示さう。即ち昭和十三年の統計によれば、臺灣の分娩總數二四四、八四〇のうち、助産婦にかつたもの九四、三九七、即ち僅かに約四割であり、醫師にかつたものは四、九八六、即ち二分に相當する極めて少数に過ぎないのである。

要之、母性の保護は、女性自身の自覺、醫師、助産婦の國家的立場に立つての心がまへ、更に上述し來つた所の種々の國家的施設の三つが相俟つて、その目的が達成されるものであることを強調し、日本帝國の將來のためにこの貫徹を希ふ次第である。



### 性病談義

臺北帝大教授 醫學博士 高橋 信吉

#### 一 毒の繰り言

下世話の言葉に「自惚」と瘡氣のないものはないと云ふのがございませぬが、眞逆それ程ではないと致しまして、大體十人に一人は血液に毒反應が現はれてゐると云ふ事は、我國各方面の醫學的統計上疑もない事實なのでございます。十人に一人が梅毒に罹つてゐるとして、一億の國民の中一千万人が梅毒——と云ふ事になりますと、何が花柳病位、悪業の報ひだ、天罰だ、捨て、置けなどと、他人事の様に澄ましてはをら

れますまい。

兎角花柳病の事と申しますと、上つ方のお歴々はまるで御自分のお邸にはお聞の必要さへないかのやうなお上品ぶり、迂闊に口をきいたら痛くもない腹を探られやせんかと、唯もうおづ／＼と物を申され勝ちで、恐らく性病豫防と云ふ大事業が、結核や癌の豫防事業ほど目覚ましい關心をかち得ないのも、大方その邊にあるのにはございませんでせうか。その僻東京、大阪あたりの大都會の真中に、でか／＼といやらしい花柳

病醫の看板を並べさせて、一向平氣な方が多いのでございますから、厭味を申さうなら、御自分だけを奇麗にして置けばよいと云ふ個人主義の塊としか考へられない。かやうな考へ方はこの御時世に逆行する怪しからん事と申さねばなりません。この點では流石我海軍當局では性病が將兵の體力と能率に非常な害毒を及ぼす事を重大視し、夙くから之れが豫防と治療を軍の最大事業の一に算へて、徹底的な対策を講じられた爲、近年に至つて海軍將兵の間の性

病罹患率は驚くべき低下を示し、將兵の能率も著しく増進したとの事でございます。

大體かやうな豫防事業と申すものは、唯單に法規や制度が完備して居りました丈では、充分の効果を擧げ得ない事は申す迄もなく、官民一致、高遠なる理想と燃ゆるが如き情熱あつて始めてその目的が達せられるのでございます。嘗て私の恩師土肥慶藏博士が、歐米視察を果して歸朝せられました時の第一聲として、「アメリカは將來世界で最も強い國になつたからだ」と述べられました。當時アメリカは禁酒を實施し、高遠なる理想に向つて邁進しつゝあつたのでございます。然るに彼の國にとつては遺憾ながら、それは強請的な

法律であつた爲、國民の理念から發したものでなかつた爲、中途で空しく挫折してしまひましたが、若し之れが全國民の一致協力をかち得て二十年三十年と続きましたならば、確かに土肥先生の云はれました通りアメリカは全世界に君臨する最大強國になつて居たであらうと思はれます。酒の害毒に就ては今更申す迄もありません。特に性病との關係は極めて緊密でございます。酒を飲んで始めて淫心を起し、惡所に通ひ、性病に罹るのが、百人の中九十九人まで然りと申せませう。

是等の關係をよく裏書き致すものとして、本年名古屋で開催された、日本皮膚科學會總會の席上で發表致されました二、三の統計的報告がございます。それに據りますと、

我國民の性病罹患率は、昭和十四年以來頗る低下したとの事でございます。この原因としましては、國民の性病に對する認識の向上、サルバルサン、ズルファミン劑の普及と云ふ様なことも大いに關係して居りませうが、何よりも重視すべきは、國民が時局を認識し自戒、自肅し來つた事であらうと思はれます。この意味に於て現在行はれて居ります様な飲酒時間や飲酒量、遊興時間の制限、カフェーや待合等私娯行爲を行ひ勝

な部類に對する改革的對策は永久に續けて頂きたいと存するのでございます。尤もかゝる強力的な政策は止むを得ざる場合に限り行はるべきであつて、私どもの眞に望むところは、國民自身の自覺と努力に由つて來るものでなければなりません。



**健康報國**

四月二十八日 五月七日

國民健康増進運動

府督總 臺

事實、我國に於ける性病蔓延度が著しく低下したとしますれば、此際一段と馬力をかけ上下一致高遠なる理想に邁進致しましたならば、我國土からこの忌むべき性病を絶滅する日

の決して遠からざる事を信じてよいと考へるのでございます。

二 性病の害毒

まづ申し上げて置かなくてはならぬのは、兎角花柳病と申せば、柳暗

花明の巷に遊ぶに非らずんば、罹るものではないと云ふ誤つた考へがある事でございます。何も娼妓や藝妓ばかりが病毒の源ではなく、女給、仲居妾は勿論、人妻、娘、女中に至るまで品行方正ならざるものはこれ悉く病毒を持つてゐると考へて差支へないのでございますから、その邊篤と御注意を願ひたいのでございます。又週に一回お上の検査のある公娼にしました處で、感染の怖れありと看做さるゝ程度のものしか入院加療を命ぜられない現在の行き方である以上、検査をパスしたものは無病毒と云ふ様な事は絶対に申せないのでございます。のみならずたとへ検査日に完全に無病毒であつたと致しましても、その夜の遊客に有毒者があつたと致しましたならば、その後

に來るもの必しも被害なくしては済まないでございます。

凡そ性病には五つの種類がございますが、その中、性病性(又は鼠疫部)肉芽腫と申すのは或熱帯地方の土民間に限つて流行するもので、之は今回省略して置きます。残る四つの性病は梅毒、淋病、軟性下疳及び鼠蹊淋巴肉芽腫症(又は第四性病)でございます。この中後の二種類はざつと申さば俗に横痃とか「毛切れ」とか申すもので、被害も割合に少く、罹つてゐる間だけ作業能力が低下すると云ふ程度で、癒つた跡には、馬鹿ものどもが所謂金鶏動章とか申して、錢湯に入る時手拭で隠すのに骨を折る癩痕が股の附根に残る位のものでございますが、梅毒と淋病に至つては仲々そんな生優しいもので

はございません。

梅毒の一期とか三期とか、よく入が申しますが、一期と云ふのは感染機会後、大體三週間を経て局部に硬性下疳と云ふ硬い浸潤と浅い潰瘍が出來、程程で股の附根の淋巴腺が無痛性に腫れて參る頃迄を申すのでございますが、それから先が第二期で、感染後凡そ二箇月から先がそれなのでございます。此の時期の症状と申しますと、いろいろな皮膚や粘膜炎、發疹、脱毛、嘔吐、發熱、貧血、倦怠感、腎臓炎、四肢や軀幹の疼痛など、特に後に腦や脊髓の病氣を起すやうな人では、既に此頃、脊髓液に立派な梅毒反應が現はれてゐることが少くないのでございます。感染後凡そ三年を経ますと、所謂三期に入るのでございますが、醫者の所謂護

謨腫性變化が皮膚ばかりでなく、あらゆる内臓器官、骨、淋巴腺、腦を侵す怖れが多分にあり鼻が溶落たり、上顎や腦天に穴が開いたり、手足が頽れたり、氣が狂つたり致すのが此頃でございます。さて五年、十年と程へて第四期と云ふ事になりますと、梅毒の病原スピロヘータ・パリーダは、好んで腦、脊髓、血管を侵すために、怖ろしい痲痺性痲呆や脊髓旁や狭心症や動脈瘤やが起つて參り、可憐人生の働き盛りを癡人として精神病院に送つたり、烏邊山の煙と化したりといふ事になるのでございます。唯それだけならそれは夫子御自身の惡業の報ひとあきらめられませうが、大體この病氣は遺傳するものでございますから、それこそ諺に申す親の因果が子

に關ひの文字通り、病毒は母胎を通じて胎兒に感染致し、妊娠七箇月八箇月、さては月満ちてさへ死んで生れ、その後も死んで生れ死んで生れ、折角生きて生れても片輪であつたり、見掛は丈夫に育つても變質者などと申し、火つけ、泥棒、不良少年、人殺し、親兄弟子々孫々に至るまで泣きの涙の人生を送らなければならぬのでございます。

さてその次の淋病と申すのは、感染機会後數日にして尿道より黄色の膿を洩し、排尿の折には堪え難き痛みを訴へ、病菌が更に尿道の奥、膀胱まで達しますと、盛に剛へ通ひまして果ては血液まで垂れ流し、又男子では副睪丸、攝護腺、女子では子宮卵巣、喇叭管などと申して大切な生殖器にまで病氣を惹き起して、身

體の自由を失ひ折々は生命を墮し、後には不妊症を發して泣いても悔んでも一生世繼ぎの子供を得られなといふ慘さ、又その外に病菌が迂潤に眼に入りますと、俗に風眼と申して一夜に失明致し、又關節を侵しますると猛烈な疼痛と腫脹が參りまして、下手をすれば生涯の跛片輪に變ずるのでございます。

かゝる怖ろしき病毒をたかが花柳病と侮り輕んじ、或は惡業の酬ひ、天罰と顧みぬやうな人々が一國の下に充滿して居りますならば、忽ちにしてその國の出産率は低下し、兵力は弱化し、生産力は衰退して滅亡の淵に陥ること實に火を賭るよりも明かなることでございます。かの救癩の聖事業が、嘗ては路傍の石の如く、怯懦にして不明なる上

下の人々から顧みられざりし折柄御英明にして御仁慈なる 皇太后陛下が御射ら御率先、憐むべき癩者の救恤に範を垂れさせ給ふてより此方、始めて國民の心眼は此途に開かれたる例もあり、再びこの不明を繰返すことなき様、爲政當局並に國民各位に心からお願申上げる次第でございます。

結 核 防 禦 標 語

路上の一痰 病魔の爆彈  
絶せよ結核 固めよ銃後  
一啖千菌 散らすな病源

### 集團生活と 結核の豫防

集團生活も一種の大家族生活である。工場に於てその経営主、學校に於ては校長を父と見、従業員、生徒一同を家族員と見ることが出来る。一家の幸福の基礎が家族の健康にある様に、工場でも學校でも、そこに働き或は學ぶ人々が皆健康で、元氣である様にと願はぬ者はない。かくして夫々の集團生活者の健康を確保する爲に色々なことが計畫され施設されてゐる、例へば工場には工場醫を、學校には校醫を置いて患者を診療したり又定期に身體検査を行つて體力の向上を図る

事にしたりしてゐる。併しそれ等の結果、眞にその集團生活者の健康は増進し體力は向上したであらうか。日本の青年の死亡原因を調べて見ると、十五歳から二十九歳迄の男女青年死亡の丁度半數は結核である。次に位する肋膜炎もその殆ど全部が結核性のものである。第三位の肺炎の中にも結核によるものが相當あると見て差支ない。かうして見ると若し結核豫防に本當に成功すれば、日本の青年死亡は今の半分に減少する事になる。青年の健康は如何に増進し國民の元氣はどれ程増強するであらうか。

集團生活者に於ても之と同じことが云へるのであつて、集團生活者の大部分は青年で占められてゐる爲に、そして一般人以上に結核の蔓延に曝されてゐる爲に、彼等の保健上最大の關心は結核問題である。種々の集團生活者中で最も衛生的な生活をし、且つ保健上の監視も一番行き届いてゐると見られる學校に於てすら結核に因る犠牲者は年々莫大である。我國の大學、高等學校、専門學校等の學生々徒死亡者の大半は結核に因り、病氣退學者の半數も亦結核患者である。謂んや工場なり事務所なりから出る結核の犠牲者は之以上のものであり、今や結核問題は工場衛生、學校の衛生中心的緊急問題として焦慮

せられるに至つた。して見れば従来の方法を以てしたのでは集團生活者の結核豫防には充分な効果が無いことを肯かざるを得ないのである。我等は如何にすればこの集團生活者から出る結核の犠牲者を少くすることが出来るか、否之を無くすることが出来るかに就て今更めて従来の對策を再検討しなければならぬ時期に到達したのである。

昭和十六年五月十日印刷發行  
 發行所 臺灣總督府情報部  
 臺北市東區三月十五番地  
 印刷所 加藤 登 吉  
 臺北市東區丁目四三番地  
 印刷所 小塚本店印刷工場  
 東京市日本橋區區役所  
 電話號碼二〇七〇番

## ビタミンB の王座

純國産  
天然品

# オリザニン

ORYZANIN

注射液は、ビタミンB<sub>1</sub> 結晶を生理的食塩水に溶解せるものにて、無色澄明、無痛性なり。本剤はそのB<sub>1</sub> 含量により、強度を異にする下記六種の包装あり。

内服用製剤(粉末、錠、液、エキス)はB<sub>1</sub> B<sub>2</sub> 複合製品なり。

オリザニンは每製品生物學的に力價を準定し、且特殊操作により、之を一定不變に保たしめたり。價格も效力本位の觀點に於て常に廉なり。

注 射 液	普通品 (1.0% 0.05%)	5管 ¥ 1.70	10管 ¥ 1.20	50管 ¥ 5.00	100管 ¥ 9.00
	三倍強力量品 (3.0% 0.15%)	5管 ¥ 1.35	10管 ¥ 2.50	50管 ¥ 11.00	100管 ¥ 19.50
	五倍強力量品 (1.0% 0.25%)	5管 ¥ 1.40	10管 ¥ 2.60	50管 ¥ 11.50	100管 ¥ 21.00
	十倍強力量品 (1.0% 0.5%)	5管 ¥ 2.40	10管 ¥ 4.30	50管 ¥ 19.50	100管 ¥ 35.00
	二十倍強力量品 (1.0% 1.0%)	5管 ¥ 3.00	10管 ¥ 6.00	50管 ¥ 30.00	
	四十倍強力量品 (2.0% 2.0%)	5管 ¥ 6.00	10管 ¥ 12.00		

内 服 用	末 錠	30瓦入	150瓦入	500瓦入	1000瓦入	2500瓦入
	錠 液	50錠入	100錠入	300錠入	500錠入	
	液	100瓦入	500瓦入	1000瓦入	2500瓦入	
	エキス	50瓦入	500瓦入			

三共株式会社  
 東京市日本橋區區役所



# 身心の耐力を増す……

ビタミンB<sub>1</sub>の高単位療法劑

## 強カメタボリン錠

米食を主とする日本人は大人も子供も常にビタミンBの補給を必要としますが、ビタミンBの補給を怠ると……胃腸の働きがにぶり、食慾不振、消化不良、便秘等に陥り、更に全身の不調を來し、頭痛や不眠を起し、又は肩こりがしたり手足などが痛み、疲労し易くなり、次第に慢性の胃腸病や脚氣を起すなど諸種の病氣負けをするやうになります。からの補給が大切です。

### 主効

胃腸病に、疲労恢復に、米食による栄養障礙に、脚氣に、

### 量含B1ンミタビ

麥酒酵母に比し

メタボリン錠は…

強カメタボリン錠は…  
約一〇倍 (三四五〇)

一リアニ店薬名有一 店商兵長田武 謹啓

昭和十七年九月二十日第...  
...  
...  
...